

2 地域福祉市民フォーラムの実施（計画素案 第2章）

吹田市では、人権や福祉に関して気軽に学習できる場の提供や、地域に密着した啓発活動を行う等、人権・福祉に対する意識の向上を図ることを目的として、地域福祉市民フォーラムを開催しています。

2025年度は、第5次吹田市地域福祉計画の内容を検討するにあたり、皆さんが現在参加している（又は今まで参加したことがある）地域のイベントでの経験や、ボランティア、サークル活動等の体験談を交えて、地域活動の促進について考えるワークショップを開催しました。



【概要】

・テーマ：あなたが参加したことがある活動について

①参加して良かったこと

②継続して活動に参加したくなるにはどんな工夫があったら嬉しいか

・日時、場所

	北会場	南会場
日程	令和7年11月21日（金）	令和7年11月8日（土）
時間	午後2時～4時	午後2時～4時
場所	吹田市総合防災センター（DRC） 6階 多目的室	吹田市文化会館メイシアター 1階 集会室

・参加者：55人（北会場43人、南会場12人）

【参加したことがある活動内容（抜粋）】

- 地区福祉委員会によるティーサロン、クリスマス会、食事会
- お寺での交流会
- 市民オーケストラ団体での定期演奏会
- いきいき百歳体操、ひろばで体操
- 自治会の祭り
- ボランティア（絵本の読み聞かせ、清掃など）
- 農業体験
- 麻雀
- フラワーアレンジメント
- 英会話スクール
- 天体観測
- など

①参加して良かったこと

「友達が増えた」や「普段話すことのない人とのつながりができた」等、新たなコミュニティやつながりづくりに関する意見が多く出ました。また、つながりができたことで継続的に活動がしやすくなり、結果として、健康増進や書類の作成方法の習得など、自身のスキルアップにもつながったという意見も出ました。



地域活動の展示ブースも
設置しました！

【参加して良かったこと(抜粋)】

- 0～2 歳児との関わりで癒される。
- 大きな声を出せる。
- 今までフルタイム勤務のため知り合いが少なかったが、活動参加により友達が増えた。
- 高齢者の方の話を聞いて、今後の生き方の参考になった。
- 定期的に外出したり頭をつかうようになったことで、自分の健康にも良いと思った。
- 若い世代や留学生など、普段話すことのない人との新たなつながりができた。

②継続して活動に参加したくなるにはどんな工夫があったら嬉しいか

「積極的に声をかける」「ニックネームで呼び合う」等、親睦を深めやすい工夫を求める意見が多く出ました。また、「苦手なことは断るようにする」「実施する時間帯への配慮」等、無理なく活動が続けられる体制づくりに関する意見も出ました。

【継続して活動に参加したくなるにはどんな工夫があったら嬉しいか(抜粋)】

- みんなの得意分野を活かす取組。
- ニックネームで呼び合う。
- 初めて参加した人には積極的に声をかける。
- 実施する時間帯への配慮。
- 役割を決める際は苦手なことは断り、得意なことを引き受けるようにする。
- 立場も考え方もいろいろ。譲り合いが大事。
- 楽しんでできる環境づくり。「無理しないこと」が大事。

本フォーラムを実施して出た意見や見えてきた現状を踏まえて、第5次地域福祉計画の内容を検討していきます。